

ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1~5	6~21	21~50	51 以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1~10	11~50	51~100	101 以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1~2	3~5	6~10	11 以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

調査日:令和6年8月27日

調査田	捕 殺 数(株 あたり虫 数)				
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ		
岸和田市積川町	0頭	0頭	0頭		
和泉市黒石町	0頭	0頭	0.013 頭(75 株当たり 1 頭)		
泉大津市虫取町	0頭	0頭	0頭		



今回の調査で、トビイロウンカ・セジロウンカは確認されませんでした。しかし、調査 田の中には、斑点米カメムシやコブノメイガの幼虫について捕殺されています。 特に斑点米カメムシ類は玄米の品質低下につながりますので、本田防除に努めて ください。

斑点米カメムシ類防除薬剤(例)

剤 型	農薬名	使用時期	有効成分(IRAC コード)
粒剤	アルバリン粒剤	収穫7日前	ジノテフラン(4A)
	スタークル豆つぶ	収穫7日前	ジノテフラン(4A)
乳剤 水溶剤 フロアブル剤 等	アルバリン顆粒水溶剤	収穫7日前	ジノテフラン(4A)
	トレボン乳剤	収穫 14 日前	エトフェンプロックス(3A)
	エクシードフロアブル	収穫7日前	スルホキサフロル(4C)

